

副籍制度の充実に向けたアンケート調査票

学校種別・学年	(小 ・ 中) 学校 第 () 学年
記入者	学級担任・学年担当・特別支援教育コーディネーター・その他 ()
特別支援学級(固定)(通級)	ある(固定・通級) なし

※ 該当する回答の空欄に○印を記入してください。

No.	設 問	そう思う	まあ そう思う	あまり 思わない	思わない	どちらとも 言えない
1	特別支援学校と連携を図るなどして、副籍制度に基づく交流内容の充実に努めてきた。					
2	交流の継続により、特別支援学校の児童・生徒の成長を感じる。					
3	交流の継続により、担任する学級の児童・生徒の障害のある子供への理解が深まった。					
4	交流の継続により、自分自身の障害のある子供への理解が深まった。					
5	副籍制度の意義や実施内容について、学級の保護者への理解啓発に努めてきた。					
6	副籍制度に対する特別支援学校の保護者の期待は理解できるが、要望が過大であると感じることもある。					
7	副籍制度は、共生社会の形成に向けて意義がある。					
8	副籍制度の充実に向けては、小・中学校の主体的な取組が大切である。					
9	「今後、都立特別支援学校の小・中学部に在籍する児童・生徒は、原則として全員が副籍をもち、交流を希望する人は交流を進めた方が良い」という考え方がありますが、このことについてどう思いますか。					
○ 交流を通じて印象に残っている出来事や、副籍制度に対するお考えがあればお書きください。						
○ 副籍制度の今後の在り方について、御意見・御提案がありましたらお聞かせください。						

* 共生社会＝障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格や個性を尊重し支え合う社会

御協力ありがとうございました。